

西淀川の交通・移動について
考えてみよう！

提案書



第1回 車いす利用者の梅さんをお招きして車いす体験をしました。



第2回 視覚障害者の山本さんをお招きして視覚障害者体験をしました。



第3回 松村先生(大阪大学)に市民まちづくり活動についてお話してもらいました。



第4回 交通まちづくりプロジェクトで何を取り組むかについて話し合いました。



第5回 JR塚本駅周辺の放置駐輪の状況について調べました。



第6、7回 今までの調査や議論を元に、どのように提案していくかについて話し合いました。

2011年2月

西淀川交通まちづくりプロジェクト
事務局:財団法人公害地域再生センター
(あおぞら財団)



目次

西淀川区の交通まちづくりへの提案

1	提案の概要	1
2	自転車を活かした街づくりに対する提案	2
(1)	JR 塚本駅周辺の放置駐輪の現状調査	2
(2)	JR 塚本駅周辺への提案	3
(3)	塚本駅前を「西淀川の顔」として整備	4
(4)	駅周辺の低未利用地を活用した駐輪場の整備	5
(5)	駐輪場の料金の弾力化	7
(6)	利用者目線のわかりやすい案内看板の設置	7
(7)	J R 塚本駅周辺の自転車対策協議会の設置	8
3	誰もが移動しやすいまちづくりに対する提案	9
(1)	障害者の模擬体験会の実施	9
(2)	街中のバリアフリー情報を収集し、公開	10

付録：西淀川交通まちづくりプロジェクトの概要

①	プロジェクトの経緯	11
②	プロジェクトの内容	11
③	プロジェクトの意義	11
④	プロジェクトの参加者	11
⑤	プロジェクトの流れ	12

1 提案の概要

放置駐輪の対策が必要！

- ・西淀川区区内では、**JR 塚本駅周辺**の**放置駐輪**が多い。
- ・町の魅力を高め、誰にとっても移動しやすい駅前にするために、対策が必要。

自転車を活かしたまちづくり

- ・駅周辺の低未利用地を活用した駐輪場の整備
- ・駐輪場の料金の弾力化
- ・利用者目線のわかりやすい案内看板の設置



障害者の模擬体験会の実施

- ・車いす、視覚障害者など多様な人々に共感することが、まちづくりには大事。
- ・模擬体験会で、多様な人への共感を育む。

街中のバリアフリー情報を収集し、公開

- ・街中のバリアフリーに関する情報を集めて整理し、公開する。
- ・バリアフリー情報は、市民自身が集める。

誰もが移動しやすいまちづくり



2 自転車を活かしたまちづくりに対する提案

(1) JR 塚本駅周辺の放置駐輪の現状調査

まちづくりに関して

塚本駅前を自転車を活かしたまちづくりの一步に!

駅前は、歩行者、自転車優先順位上(駐車場<駐輪)

モデル駐輪場になるような!
JR 塚本駅前公園の整備急務

駅前ロータリー周辺を自転車進入禁止にし、駐輪場、公園化の検討必要。

さまざまな主体との連携に関して

UFJ 銀行の無策が目立つ。

駐輪場(駅周辺)を増やす。公園等

企業と地域の顔つなぎができてない

警察と協議する。

JR に対策を強要する。大阪市がすべて対応、対策しているのに JR の無策が目立つ。JR の客対策がなっていない。

JR に抗議!
→駅前広場の管理は誰?

住民との協働に関して

住民が行政に対して客観的な視点から提案していく

ボランティアで駐輪を管理してもいい

町会と一緒にやっていく。柏里、野里など。

町をきれいにしたという意識から放置駐輪をなくしたい

町会側に放置駐輪対策を行う意志があるかどうか。

低未利用地の活用について

コインパーキングを道路に作る。駅前広場に!

駅の所有地を駐輪場に提供すべき<JR 塚本

低未利用地、不明な構造物などを整理すべき

高速道下にも空き地あり。駐輪場増設すべき

看板に関して

西淀川区側 駅前、駐輪不可の表示をはっきり出してほしい
案内指示をわかりやすく

駐輪場の案内表示場所が不適切な所にある

駅前広場に看板を設置する
不法駐輪の多いところに

駐輪場前の看板が不要。改札の前におくべきでは

案内は短く、大きく、わかりやすく

利用者目線の整備を!

駐輪料金に関して

自転車置場の使用量と利便性の検討が必要
近くないとイヤ

駐輪場の一時あずかりの料金が違うので高い方に停めていた人が損をした気になる

一時預かり 50~150 円の差がよくわからない

遠いところの駐輪場は無料とすべき

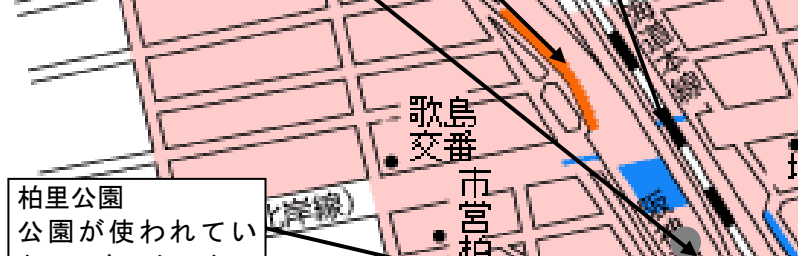
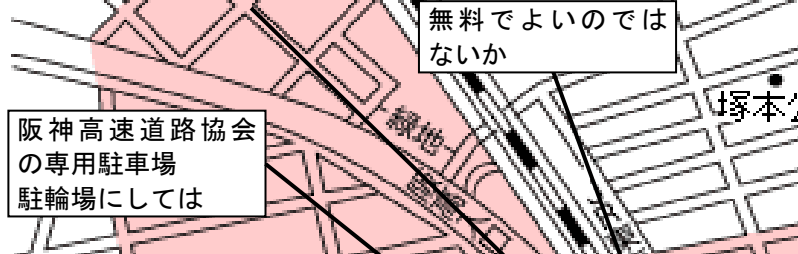
違法駐輪の札を取り付けても、取っ飛ばせばわからないし撤去されなければ一緒

駐輪場は無料でもいい
⇨有料で

駐輪場の整備 屋根、人をはりつける
→安心して停められる

西淀川の歩道が狭い

自転車禁止区域 = 撤去できる地域
駐輪場マナーや地域の意志が必要



(2) JR 塚本駅周辺への提案

① 塚本駅前を「西淀川の顔」として整備

- ・ JR 塚本駅は西淀川区内の駅の中でも利用者が最も多い駅です。また、周辺には商店街などがあり、住宅も多く、たくさんの人で賑わっています。
- ・ 現状の塚本駅は、放置駐輪があふれ、車いすや視覚障害者をはじめとした歩行者の通行の妨げとなっています。
- ・ 塚本駅周辺から**自転車**を排除するのではなく、**自転車を活かしたまちづくりのモデル地域として、「西淀川の顔」としてにぎわいのある空間として整備**していくことを提案します。
- ・ 行政だけで計画・整備するのではなく、鉄道事業者、商業事業者、地域住民など、様々な人々が塚本駅前のまちづくりに関わり、まちの将来像を共有していくことが重要です。

表 西淀川区内の駅

電鉄名	駅名	乗車人員 (人/日)
JR 西日本	塚本駅	17,110
	御幣島駅	11,056
阪神 電気鉄道	姫島駅	6,452
	千船駅	9,304
	福駅	4,036
	出来島駅	3,891

(出典：平成 21 年度大阪府統計年鑑、乗車人員の統計年度は平成 20 年度)

② 駅周辺の低未利用地を活用した駐輪場の整備

- ・ 塚本駅直近に駐輪場がないため、駅前広場や公園前の道路などが駐輪場の代わりになっています。
- ・ 塚本駅の周辺には、あまり活用されていない低未利用地も見られます。
- ・ 今までのような雑然とした駐輪ではなく、秩序のある駐輪をめざして、駅周辺の低未利用地を活用した駐輪場を整備することを提案します。

③ 駐輪場の料金の弾力化

- ・ 現在の一時利用の駐輪料金は、短時間であっても長時間であっても同じ料金です。
- ・ 短時間駐輪を無料にして駐輪場に自転車を誘導することを提案します。

④ 利用者目線のわかりやすい案内看板の設置

- ・ 現在、駐輪場の案内看板は、利用者の目に入りにくい場所に設置されています。
- ・ 看板には放置駐輪禁止区域や撤去料金、駐輪場の位置が記入されていますが、どの駐輪場が一時利用なのかわからない、利用料金がわからないといった問題点があります。
- ・ 利用者に必要な情報を含んだ案内看板を、わかりやすい位置に設置することを提案します。

⑤ JR 塚本駅周辺の自転車対策協議会の設置

- ・ 上記の内容を含めて、JR 塚本駅周辺の放置駐輪対策を検討するためには、地域・鉄道事業者・行政等を含めた対策協議会を立ち上げる必要があります。特に、JR の乗客が放置駐輪をしていくことが推察されるため、JR の積極的な参画を求めます。
- ・ 駐車料金の弾力化、案内看板の設置を効果的に行うためには、現状の放置駐輪の実態調査を詳細に行う必要があります。
- ・ JR 塚本駅は淀川区および西淀川区の境界にあることから、両区が協働で協議会を立ち上げることを要望します。

(3) 塚本駅前を「西淀川の顔」として整備

- ・町の賑わい、バリアフリーの観点からも、放置自転車をなくし、自転車を活かしたまちづくりのモデル地域として整備していくことを提案します。
- ・行政だけで計画・整備するのではなく、鉄道事業者、商業事業者、地域住民など、様々な人々が塚本駅前のまちづくりに関わり、まちの将来像を共有していくことが重要です。

現状の塚本駅周辺

駅を降りると、たくさんの放置自転車があふれて、雑然とした印象を与えます。

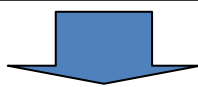


放置自転車が多いと、車いすや視覚障害者をはじめとした歩行者の通行の妨げとなっています。



JR塚本駅は、よく利用しますが、駅前広場や歩道が放置駐輪で塞がっていると、どこを通ればよいかわからず困ります。

(視覚障害者の山本美恵子さん)



自転車を活かしたまちづくりを実現することで

駅前広場から放置自転車をなくして、人が集う賑わい空間に

高齢者や障害者をはじめとした歩行者が安全に通行できるように

行政、鉄道事業者、商業事業者、地域住民など、様々な人々がまちの将来像を共有



(4) 駅周辺の低未利用地を活用した駐輪場の整備

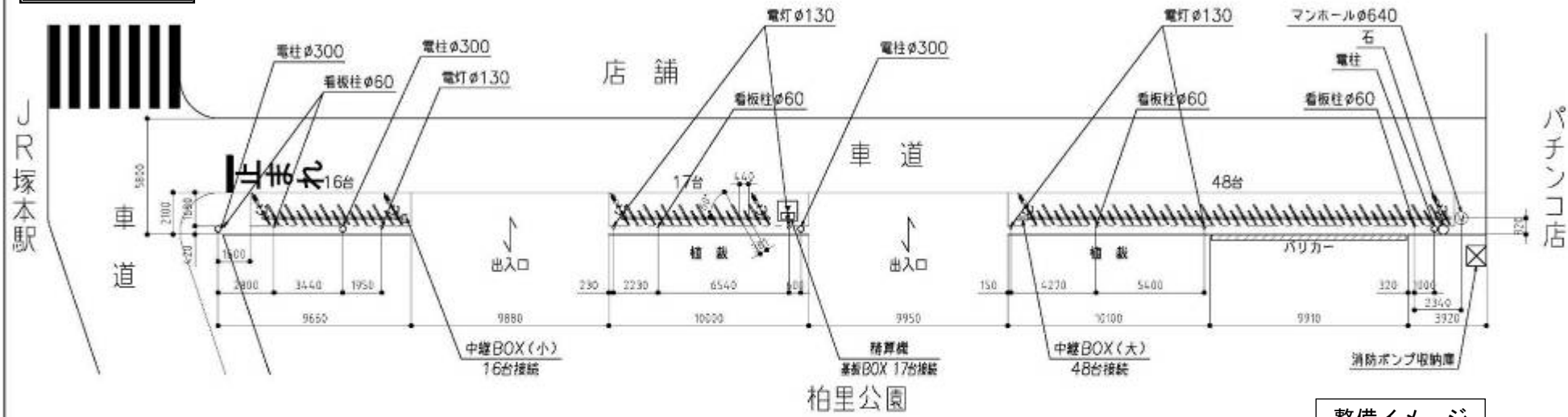
- ・低未利用地を駐輪場に活用した場合、どのくらいの台数が駐輪できるようになるのかを把握するために、駐輪場メーカーに駐輪台数を見積もってもらいました。



現状の放置駐輪の様子



柏里公園前



＜収容台数＞	
平置き自転車用ラック：SD-200 P440(並行P381) 60°	81台
中継BOX(小) + 基板BOX	2台
中継BOX(大)	1台
精算機 (DCR-5000)	1台

※正式測量によって台数の増減が考えられます。

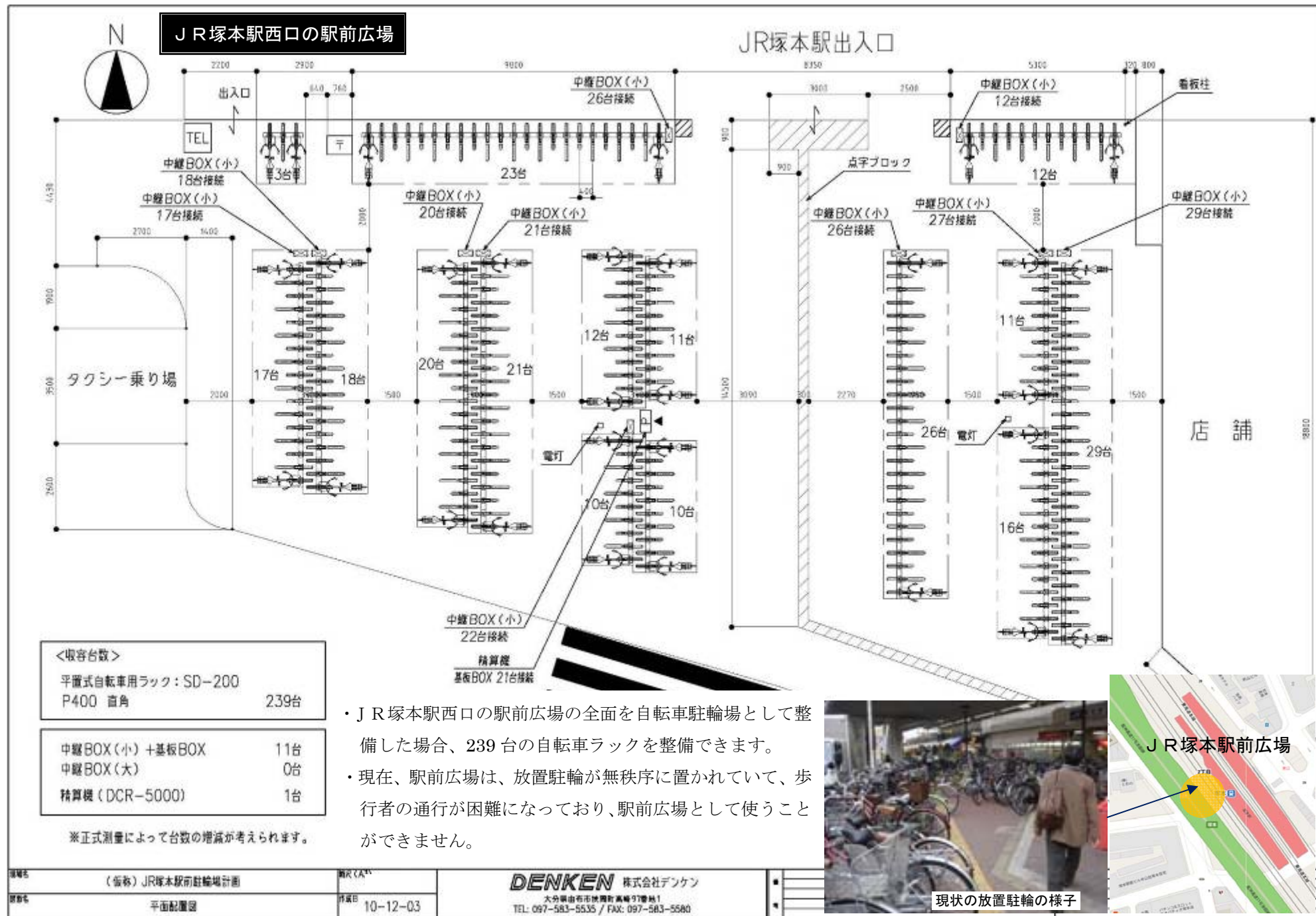
- ・柏里公園横の道路の一部を自転車駐輪場に活用した場合、81 台の自転車ラックを設置することができます。
- ・現在、柏里公園横の道路の路側帯は、放置駐輪が無秩序に置かれていて、公園の出入りがしにくくなっています。また、駅の西口からすぐ見えるため、駅前に雑然とした印象を与えています。

整備イメージ



ダイエー摂津富田店
用途 商業施設
駐輪機台数 860台 / バイク 150台

図名	(仮称) 柏里公園前駐輪場計画	図尺	A3	株式会社デンケン 大阪府大阪市東淀川区高崎9丁目1番1号 TEL: 097-583-5535 / FAX: 097-583-5580	※
図種	平面配置図	作成日	10-11-30		※



<収容台数>	
平置き自転車用ラック: SD-200 P400 直角	239台

中継BOX(小) + 基板BOX	11台
中継BOX(大)	0台
精算機 (DCR-5000)	1台

※正式測量によって台数の増減が考えられます。

- ・ JR塚本駅西口の駅前広場の全面を自転車駐輪場として整備した場合、239台の自転車ラックを整備できます。
- ・ 現在、駅前広場は、放置駐輪が無秩序に置かれていて、歩行者の通行が困難になっており、駅前広場として使うことができません。



現状の放置駐輪の様子



JR塚本駅前広場

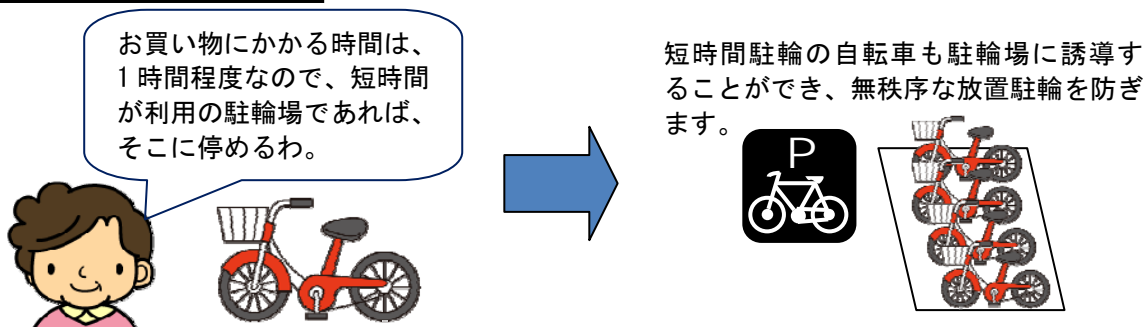
図名	(仮称) JR塚本駅前駐輪場計画	図尺(A ³)	
図番	平面配置図	図番	10-12-03

DENKEN 株式会社デンケン
 大分県由布市津関町高崎97番地1
 TEL: 097-583-5535 / FAX: 097-583-5580

(5) 駐輪場の料金の弾力化

- ・現在の一時利用の駐輪料金は、短時間であっても長時間であっても同じ料金です。
- ・JR塚本駅前周辺は商店街になっていることから、1,2時間だけの短時間利用者も多くおられます。そういった短時間利用者は、「ほんの少しだけだから」という意識で、放置駐輪をしがちになると考えられます。
- ・短時間であっても、無秩序におかれた放置駐輪は、歩行者の通行を妨げます。歩行者は、健常者ばかりでなく、車いす利用者や視覚障害者など多様な人々がいます。
- ・そこで、無秩序な放置駐輪を防ぐために、短時間駐輪を無料にすることで、駐輪場に自転車を誘導することを提案します。

短時間の駐輪を無料にすると



(6) 利用者目線のわかりやすい案内看板の設置

- ・現在、駐輪場の案内看板は、利用者の目に入りにくい場所に設置されています。
- ・看板には放置駐輪禁止区域や撤去料金、駐輪場の位置が記入されていますが、どの駐輪場が一時利用なのかわからない、利用料金がわからないといった問題点があります。
- ・利用者にとって必要な情報を含んだ案内看板を、わかりやすい位置に設置することを提案します。

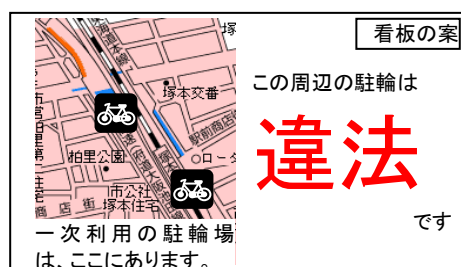
現状の看板



- ・どこの駐輪場が、一時利用に対応しているのかわからない。
- ・駐輪場の近くに設置されているため、駅前に駐輪する人の目に入らない。

看板の改善案

- ・情報量を減らし、わかりやすく。
- ・一時利用の駐輪場の場所を示す。
- ・放置駐輪が多い箇所（駅前広場、柏公園横など）に、設置する。



(7) JR塚本駅周辺の自転車対策協議会の設置

- ・西淀川区にあるJR塚本駅以外の駅の周辺は、自転車対策協議会の部会が設置されています。
- ・JR塚本駅周辺の放置駐輪対策を検討するためには、地域・鉄道事業者・行政等を含めた対策協議会を立ち上げる必要があります。特に、JR西日本の乗客が放置駐輪をしていくことが推察されるため、JR西日本の積極的な参画を求める必要があります。
- ・駐車料金の弾力化、案内看板の設置を効果的に行うためには、現状の放置駐輪の実態調査を詳細に行う必要があります。
- ・JR塚本駅は淀川区および西淀川区の境界にあることから、両区が協働で協議会を立ち上げることを要望します。

JR塚本駅周辺の自転車対策協議会の設置

関係者が協議して放置自転車対策を検討

- ・地域住民、商業事業者、鉄道事業者（JR西日本）、行政等（国土交通省、建設局、交通局、区役所）の関係者が集まって、放置自転車対策に対する協議を行います。
- ・JR塚本駅は淀川区および西淀川区の境界にあることから、両区が協働で協議会を立ち上げることを要望します。
- ・JR西日本の乗客が放置駐輪をしていくことが推察されるため、JR西日本の積極的な参画を求める必要があります

放置自転車の実態調査の実施

- ・駐輪料金の弾力化、わかりやすい看板の設置、駐輪場の整備といった放置自転車対策を効果的に行うためには、誰がどのような目的でどの程度の時間に違法駐輪をしているのかという実態を調査することが必要です。

様々な関係者が協力し合って放置自転車対策を実施

- ・協議会内の協議内容を受けて、協働しながら放置自転車対策を行うことが重要です。

3 誰もが移動しやすいまちづくりに対する提案

(1) 障害者の模擬体験会の実施

- ・車いす、視覚障害者など多様な人々に共感することが、まちづくりには大事です。
- ・車いす、視覚障害者等の模擬体験会を実施して、多様な人への共感を育み、バリアフリー整備の必要性を共有し、マナーの向上、助け合いの心を醸成することを目指します。
- ・健常者の障害者体験だけでなく、視覚障害者や脚力の弱い人でも乗れるタンDEM自転車の体験会も行い、自転車まちづくりへの理解を深めます。

表 話合いで出てきた意見

- ・障害があっても地域の行事に参加したい、社会にアプローチしたいという意志がある。**周囲の人々の理解を深めることが必要**だと思う。
- ・視覚障害者の体験を初めてして、**視野が広がった**。
- ・資料だけ配っても、話を聞かないと読まない。
- ・子どもを対象にする場合には、**大人のフォローが必要**だが、きちんと教えればちゃんと理解してくれる。

○疑似体験を行う際の留意点

- ① 疑似体験を行う場合には、障害当事者が一緒に参加した方がよい。参加者の体験に対する真剣さが増すし、体験の必要性に対する認識も深まる。
- ② できることなら、さまざまな障害を持った人にも参加してもらった方がよい。
- ③ 視覚障害者体験の場合は、手引きの仕方を先に教えてから体験をしたほうがよい。



写真 車いす体験



写真 視覚障害者体験



写真 タンDEM自転車体験

※タンDEM自転車とは

- ・二人の人が前後に並んで乗って、同時にペダルを漕いで走ることができる自転車。
- ・視覚に障害のある方や脚力の弱い方でも、自転車を楽しむ事ができます。
- ・ただし、タンDEM自転車で公道走行が可能なのは長野、兵庫、山形、愛媛の4県だけです（大阪府では、三輪以上のタンDEM自転車であれば、走行可です）

(2) 街中のバリアフリー情報を収集し、公開

- ・少しずつバリアフリーの情報を集めて、マップにまとめて行く取り組みを始めています。
- ・バリアフリー情報は、市民自身が集めていく予定で、協力者を募集します。バリアフリー情報だけでなく、おいしい飲食店、素敵なお店など、楽しい情報も追加していく予定です。
- ・将来的には、西淀川区内全体の情報を集めて、冊子にまとめて必要な人に配布したいと考えています。



図 WEB版西淀川バリアフリーマップ

- ・ Google マップで、集めた情報を整理しています。
- ・ 「西淀川バリアフリーマップ」で検索すると出てきます。
- ・ 誰でも編集することができます。



図 西淀川バリアフリーマップ

付録 西淀川交通まちづくりプロジェクトの概要

① プロジェクトの経緯

あおぞら財団では、西淀川地区沿道環境に関する連絡会、西淀川交通まちづくり意見交換会・討論会などに関わり、西淀川区内の交通・移動環境に対する様々な提言を行ってきました。行政に対して提言を続けていくことは重要ですが、市民自らが提言した内容を実現化し、移動環境を少しでもよりよいものに変えていくという行動も重要です。このプロジェクトでは、市民が中心となって、交通・移動環境をよりよいものにしていく行動をおこすきっかけにしたいと考えています。

② プロジェクトの内容

本プロジェクトでは、市民が主体となって、西淀川区内の交通や移動に関する情報を収集し、地域内の交通や移動の課題について話し合います。調査した情報や議論した内容は、報告書としてまとめて、西淀川区民に広く公開します。

③ プロジェクトの意義

①地域の人材の発掘

本プロジェクトの参加者は、今までまちづくり等のあまり参加していなかった方が含まれています。このように、西淀川区には、交通まちづくりに興味がある方が潜在的にたくさんおられると考えられます。本プロジェクトを実施する事によって、地域で交通まちづくりに参加したい人材を発掘します。

②市民が集めた情報や議論した内容の活用

本プロジェクトでは、市民の有志の方々と集めた情報や議論した内容を広く公開して、交通まちづくりに役立てたいと思っています。交通まちづくりの受益者である市民であるため、生活に根差した集めた情報や議論内容になっています。

④ プロジェクトの参加者

- ・各回 10 名前後（全員 西淀川在住者）
 - ・昨年度実施した西淀川交通まちづくり意見交換会の参加者
(2009 年度に西淀川区在住者 2,000 名を無作為抽出し、アンケート調査を実施。アンケート調査において、「意見交換会に参加してみたい」と回答のあった方を対象に、参加を募集しました)
 - ・図書館やあおぞらビルの前にあるチラシを見て参加した方

⑤ プロジェクトの流れ

STEP1 基礎知識の習得

1回目 お話&疑似体験！ 車いすの視点でまちをチェックしよう

【日時】2010年7月17日（土）13:30～15:30

【内容】西淀川の移動の問題を考える前段階として、移動について最も困っていると考えられる車いす利用者の視点を学びました。具体的には、車いす体験の後、車いす利用者の梅紀久代さんから移動の不便さやユニバーサルデザインについて話を聞き、参加者同士で意見交換をしました。



大野川緑陰道路、区役所周辺で車いす体験をしました。



車いす利用者の梅さんから話を聞きました。



車いす体験や梅さんのお話をふまえて意見交換しました。

2回目 お話&疑似体験！ 視覚障害と高齢者の視点でまちをチェックしよう

【日時】2010年7月24日（土）13:30～15:30

【内容】現在、移動について最も困っていると考えられる高齢者および視覚障害者の視点を学びました。具体的には、高齢者、視覚障害者の疑似体験の後、視覚障害者の山本美恵子さんから移動の不便さについて話を聞き、参加者同士で意見交換をしました。



あおぞら財団周辺で視覚障害者体験をしました。



視覚障害者の山本さんから話を聞きました。



視覚障害者体験や山本さんのお話をふまえて意見交換しました。

3回目 お話&話し合い：西淀川区の移動・外出について話し合おう

【日時】2010年8月21日（土）13:30～15:30

【内容】西淀川区の移動・外出について、プロジェクトの中でどのようなことに取り組んでいきたいのかを話し合いました。具体的には、大阪大学松村暢彦先生から、「市民まちづくり活動をはじめるためには」と題して話を聞き、それをふまえて参加者同士で話し合いました。



松村先生から、市民まちづくり活動について話を聞きました。



どのようなことに取り組みたいか話し合いました。



話し合った内容は、発表してお互いに共有しました。

STEP2 地域内の移動・交通に関する調査

西淀川区自転車対策検討連絡会議へのヒアリング

【日時】2010年9月22日（水）14:00～15:00

【内容】第3回で放置駐輪の実態調査の実施の提案が出たのをふまえて、西淀川区役所に、自転車対策検討連絡会議の検討内容についてヒアリングに行きました。

視覚障害者の山本美恵子さんへのヒアリング

【日時】2010年10月2日（土）14:00～15:00

【内容】第3回で視覚障害者の模擬体験会の実施の提案が出たのをふまえて、西淀川区内で視覚障害者の模擬体験会がどのように行われているのか、また、どのような点に留意すべきかについて、西淀川在住で視覚障害者の山本美恵子さんにお話をうかがいました。

4回目 西淀川区内の移動・外出の現状について調べよう（1）

【日時】2010年10月23日（土）13:30～15:30

【内容】今後、西淀川交通まちづくりプロジェクトでどのような取り組みを行っていくかについて意見交換を行いました。意見交換の結果、今後は、塚本駅前の駐輪実態の調査、視覚障害者の方を対象にしたタンデム自転車の体験会、西淀川バリアフリーマップの作成に取り組んで行く事になりました。



区役所や視覚障害者の山本さんに聞いたお話を報告しました。



あおぞら財団が取り組んできた内容を紹介しました。



今後の取り組みについて話し合いをしました。

5回目 西淀川区内の移動・外出の現状について調べよう（2）

【日時】2010年11月13日（土）13:30～16:00

【内容】JR塚本駅周辺の放置駐輪や駐輪場の様子を確認し、課題を整理しました。



JR塚本駅周辺の放置駐輪や駐輪上位の現状について調査しました。



放置駐輪について意見交換をしました。



話し合いで出た意見を、地図と模造紙、写真で整理しました。

6回目 西淀川区内の移動・外出の現状について調べよう (3)

【日時】2010年12月11日(土) 13:30~15:30

【内容】第5回のJR塚本駅周辺の駐輪実態調査の結果をふまえて、今後の提案内容について話し合いました。



今後の提案内容や提案方法について意見交換をしました。



駐輪対策は、住民や商店街、区役所などと連携する必要があるという意見が出ました。



提案に対する意見を区からもらうために、意見交換会を開催した方がよい。という意見が出ました

STEP3 調べた／話し合った内容の活用方法の検討

7回目 調べた／話し合った内容の使い方について話し合おう

【日時】2011年1月19日(水) 19:00~20:30

【内容】第7回は、区役所への提案内容や提案方法について話し合いました。提案内容は、JR塚本駅前周辺の放置駐輪を中心とした自転車を活かしたまちづくりについて、障害者の模擬体験会、バリアフリーマップ等の誰もが移動しやすいまちづくりについてです。



区役所への提案内容や提案方法について話し合いました。



放置自転車対策にはバリアフリーの視点が必要といった意見が出ました。



市民の意見をまとめて、協働しながらやっていこうという意見が出ました。

意見交換会 調べた／話し合った内容について、区役所と意見交換をしよう

【日時】2011年2月28日(月) 18:30~20:00

【内容】今まで西淀川交通まちづくりプロジェクトで話し合った内容について、区役所と意見交換を行います。

※ 詳しくはあおぞら財団 blog (<http://aozorabsw.exblog.jp/i22/>) で報告しています。

